

12月 行事予定

日	曜日	行事名
1	火	休館日
4	金	ハーフバースデー事業 公民館学級「男の料理教室」
5	土	キッズ塾「抹茶教室」
6	日	休館日
7	月	ハーフバースデー事業
8	火	公民館学級「ミニ門松づくり」 ハーフバースデー事業
9	水	介護予防いきいき講座
11	金	ハーフバースデー事業 SDGs さばえフードドライブ事業（回収）
12	土	キッズ塾「英語で遊ぼう」 青少協冬季キャンペーン SDGs さばえフードドライブ事業（回収）
13	日	公民館大掃除 SDGs さばえフードドライブ事業（回収）
15	火	休館日
16	水	区長幹事会・区長会
18	金	SDGs さばえフードドライブ事業（配布）
19	土	キッズ塾「花あそび教室」 SDGs さばえフードドライブ事業（配布）
20	日	SDGs さばえフードドライブ事業（配布）
22	火	さんさんるーむ「クリスマスお楽しみ会」
23	水	介護予防いきいき講座
27	日	休館日
29	火	休館日
30	水	休館日
31	木	休館日

※予定は変更することがあります。予めご了承ください。

男の料理教室

- 開催日 12月4日（金）
- 時間 18:30～20:00
- 会場 神明公民館 1階 調理室
- 講師 こっしえるん。かふえ 上嶋 睦美氏
- 持ち物 エプロン 三角巾 マスク
- 参加費 500円

※都合により日にちが変更になりました。
※状況により延期・中止になる場合がありますので、ご了承ください。



お知らせ

神明・鳥羽キッズ塾

（※年間登録された児童対象の事業です）



抹茶教室

【ご家族お招き会】

- ★開催日： 12月5日（土）
- ★時間： 10:00～11:15
- ★会場： 神明公民館 2階 和室3
- ★参加費： 200円
- ★持ち物： ふくさ

英語で遊ぼう

- ★開催日： 12月12日（土）
 - ★時間： 10:00～11:30
 - ★会場： 神明公民館 1階 会議室1
- ※詳細については後日お知らせします。



花あそび教室

- ★開催日： 12月19日（土）
 - ★時間： 10:00～11:30
 - ★会場： 神明公民館 1階 会議室1
 - ★持ち物： 花ばさみ
- ※詳細については後日お知らせします。

※状況により延期・中止になる場合がありますので、ご了承ください。

園芸講座

-ミニ門松づくり-

- ☆日時 12月8日（火）
10:00～正午
- ☆場所 神明公民館 1階 多目的室
- ☆定員 20名
- ☆材料代 実費
- ☆講師 小林農園 小林 鈴子 氏
- ☆持ち物 移植ゴテ、作業しやすい服装
園芸手袋（軍手）
- ☆申込先 12月3日（木）までに
神明公民館にお申込みください。
☎51-5065



安全で安心 そして優しい街

しんめい

題字：佐々木 肇 氏

☆ 神明公民館 12月号 ☆

- ★館報：第352号（2020年11月25日発行）
- ★住所：鯖江市三六町1丁目4-12
- ★TEL：51-5065 ★FAX：51-5066
- ★Mail：SC-CC-Shinmei@city.sabae.fukui.jp

ホームページ

メールアドレス



★神明地区の人口（11月1日現在）世帯数6,497戸 男8,405 女8,847 計17,252人 前月比8人増

神明地区社会福祉研修会開催

～コロナ禍での災害対応を考えよう～



去る10月24日（土）神明地区社会福祉研修会が開催されました。感染症対策として、人数を制限し開催しました。鯖江市防災危機管理監の藤田裕之氏を講師に、「コロナ禍における避難所運営について」と題し、お話していただきました。平成17年の福井豪雨を始め、全国で発生した災害を振り返り、どの段階で避難準備をしたらよいかを学びました。前もって家庭や町内で話し合いをし、それぞれが避難先を決めておくことが大切です。



災害はいつ起こるか分かりません。今回の講演で、『備災』について考えておくことが重要であると分かりました。各町内でも、それぞれ防災講座・勉強会が開かれています。このような講座に参加し、日頃から災害を意識しておくことや、「ご近所つきあい」は大切だなと感じました。


主催：神明地区社会福祉協議会



さんさん
るーむ

心も体も気持ちいい～


10月26日(月)に「骨盤体操でスッキリ」を行いました。
講師に宮本真由美先生をお招きし、骨盤の歪みなどに効果的なストレッチ体操を教えてくださいました。
楽しみながらリフレッシュができ、親子のコミュニケーションが図れました。



主催：神明・鳥羽地区子育て支援ネットワーク委員会

グラウンドゴルフ大会を開催!!

10月29日(木)日野川河川敷緑地公園にて開催しました。
爽やかな秋晴れの中、感染予防対策しながら男女約31名の方が、元気にプレーを楽しみました。



※撮影のためマスクを外しています。

	男子の部	女子の部
優勝	林良一 (丸山町)	山本登代子 (北野町)
次勝	宮腰一巧 (水落4)	玉邑高子 (北野町)
三位	佐々木美紀男 (水落4)	佐々木美根子 (神中町)

(敬称略)


主催：神明地区社会福祉協議会

公民館学級

◇ 手作りみそ講習会 参加者募集 ◇

福井県産の大豆を使ったみそづくりをしませんか。手作りのみそは、健康にも良くとてもおいしいですよ。
大豆は前日に煮て、当日持ってきてもらいます。参加希望の方は、希望の時間も合わせてお知らせください。


- 開催日 2月9日(火)
- 時間 10:00～16:00
- 会場 神明公民館 1階 調理室
- 講師 柴田宣子氏 下田節江氏
- 持ち物 みそを入れる容器 粗塩 エプロン 三角巾 マスク
- 材料代 2,500円程度(5kg)
- ペ切 12月17日(木)まで 神明公民館へ



● ● 民生委員・児童委員とは ● ●


北部民生委員児童委員協議会

民生委員制度は平成29年に創設100周年を迎えた歴史ある制度です。民生委員は民生委員法により設置が定められ、厚生労働大臣から委嘱されます。その身分は、「非常勤の特別職の地方公務員」とされますが、ボランティアで無報酬とされています。
また、民生委員は、児童福祉法により児童委員を兼ねることになっています。民生委員は、「住民の立場に立って、相談に応じ、必要な援助を行うこと」と定められています。児童委員は、児童及び妊産婦についての活動を行うことになっています。
民生委員児童委員の定数は、基準で定められており、鯖江市のような10万人未満の市では120～280世帯ごとに1名の民生委員児童委員を配置することに定められ、現在、鯖江市全体では131名神明地区では、32名の民生委員児童委員が活動しています。
コロナの時代、さらに身近な相談相手として信頼関係を築いていきたいと思えます。



～美味しくできました～

11月13日(金)に「男の料理教室」を開催しました。
メニューは、おから煮、鳥の山うにマヨ炒め、柿なます、茶わん蒸しでした。
野菜がたっぷり身体に優しい味でした。



公民館学級

【神明・鳥羽キッズ塾】
～クリスマスが楽しみ～

11月14日(土)に「花あそび教室」を行い、クリスマスの雰囲気を楽しめるアレンジメントに挑戦しました。
上手にクリスマスツリーの形に枝をカットし、とても素敵に仕上がりました。



【県民せいきょうと鯖江市の連携事業】

SDGs さばえ **フードドライブ** **にご協力ください!**

フードドライブとは?
家庭で余っている食べきれない食品を持ち寄り、福祉団体・施設などを通じて必要としている人に提供する活動です。家庭の食品ロス削減にもつながります。

日時 12月11日(金)～13日(日)
9:00～17:00
※ハーツでの回収は営業時間内

場所 ハーツさばえ店、ハーツ神中店、鯖江市役所、エコネットさばえ、NPOセンター、神明公民館

【問合先】市役所環境政策課 TEL 53-2227

<<寄付していただきたい食品>>

- ・賞味期限が1ヶ月以上残っているもの
- ・常温保存が可能なもの
- ・未開封のもの

<<具体的な食品例>>

- ・お米(90kgまで、2年以内)
- ・パスタ素麺などの乾麺
- ・缶詰、レトルト、インスタント食品
- ・海苔、お茶漬、ふりかけ
- ・粉ミルク、離乳食、お菓子
- ・調味料(醤油、食用油など)


※事前申込不要、当日会場まで持参してください。
※会場への持ち込みが難しい場合はご相談ください。

地域支え合い推進員だより

～『集いの場』が再開しています～

◆ ◆ 新しい生活様式で『つながり』を保ちましょう ◆ ◆

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、春頃から活動を停止していた『集いの場』が、徐々に再開されています。公民館では、文化講座・老人クラブの各種活動・町内毎の健康長寿サロン、いきいき講座、趣味の集いなど、感染予防対策を充分した上で活動を始めています。
11月13日に福井県では感染拡大注意報が発令されました。今一度、マスク・手洗い・三密を避けるなどを心掛けたいものです。
また、家にいる時間が多くなり、運動不足で筋肉が衰えて虚弱「フレイル」状態になるリスクが大きくなっています。フレイル予防には、栄養・運動・社会参加の三つが重要とされています。今や、80歳以上の約7割の人が電子メールを利用して、家族や友人と連絡を取り合っているようです。
お互いに近づかなくても、相手の姿を見て気かけ合える機会を作り、わずかな時間でも共有することが、心の健康にもなることでしょう。



地域支え合い推進員 橋本克哉